

平成 25 年度 岐阜工業高等専門学校シラバス				
教科目名	技術者倫理	担当教員	田中秀和 (非常勤)	
学年学科	5 年 M・D・C 学科	前期 (M, D), 後期 (C)	必修	1 単位 (学修)
学習・教育目標	(A - 2) 100%		JABEE 基準 1 (1):(b)	
<b>授業の目標と期待される効果：</b> 技術と技術者倫理に関する基礎知識を身につけ、技術者の社会的責任と身に付けるべき倫理観について、事例分析、グループ討論等によって、理解する。 安全と安心、リスクの概要を理解し、それに関して議論できる 事故分析や事故の再発防止に関して議論できる 製造物責任法の概要を理解し、それに関して議論できる 知的財産権の概要を理解し、それに関して議論できる 技術と技術者倫理、技術者の社会的責任について理解し、それに関する具体的な問題について議論できる		<b>成績評価の方法：</b> 期末試験 100 点 + 小テストとレポート 100 点 合計 200 点の得点率 (%) で評価する <b>達成度評価の基準：</b> 以下に示す項目の成績評価への重みを、15%、15%、15%、40%とし、総合点の6割以上に達していること。 安全と安心、リスクの概要を理解し、それに関して議論できること 事故分析や事故の再発防止に関して議論できること 製造物責任法の概要を理解し、それに関して議論できること 知的財産権の概要を理解し、それに関して議論できること 技術と技術者倫理、技術者の社会的責任について理解し、それに関する具体的な問題について議論でき、倫理実行の方法を理解すること		
<b>授業の進め方とアドバイス：</b> 前半では、講義 (各学科ごとのクラスルーム) を中心とする。講義の際にはいくつかの事例を取り上げる。後半では事例研究 (グループ討論のため、80 人教室を希望) に多くの時間を割く。各事例について、教員の説明の後に少人数のグループ内で討論を行い、それを資料としてまとめ、発表して全体で討論を行う。グループ討論への積極的な参加が求められる。授業ごとに小テストあるいは課題レポートを課す。 教室外学修においては、事例研究やレポート作成時には綿密な調査を行う。また、グループ内討論の概要、自身の討論における発言内容、討論終了後の考察をレポートにまとめる。				
<b>教科書および参考書：</b> 教科書：「技術者の倫理 入門 (第 4 版)」(杉本泰治・高城重厚、丸善) 適宜プリント配布。 事例研究参考資料：「技術者倫理事例集」(電気学会、オーム社)「土木技術者倫理問題 考え方と事例解説」(土木学会)「技術士の倫理 (改訂新版)」(日本技術士会)「技術者倫理日本の事例と考察」(日本技術士会、丸善)「技術者倫理」(杉本泰治・田中秀和・橋本義平、丸善)等				
授業の概要と予定：		教室外学修		
第 1 回：技術者倫理とは、倫理と技術者倫理との違い				
第 2 回：技術者の社会的責任、技術者と組織、利益の相反		レポート作成		
第 3 回：安全と安心、リスク				
第 4 回：事故調査と再発防止		レポート作成		
第 5 回：製造物責任法 (PL 法)				
第 6 回：知的財産権		レポート作成		
第 7 回：内部告発 (公益通報者保護法と警笛鳴らし)				
第 8 回：組織と倫理綱領		レポート作成		
第 9 回：倫理実行の方法 (線引き法等) 事例研究の進め方				
第 10 回：事例研究 1：グループ討論		調査		
第 11 回：事例研究 1：プレゼンテーション、全体討論		レポート作成		
第 12 回：倫理実行の方法 (学協会等の倫理綱領を参考に)				
第 13 回：事例研究 2：グループ討論		調査		
第 14 回：事例研究 2：プレゼンテーション、全体討論		レポート作成		
第 15 回：科学者の倫理、研究者の倫理、まとめ				
期末試験		-		
第 16 回：フォローアップ (期末試験の解答の解説など)		-		